

クルーズ船の北海道への寄港が復活しています！

(一社)寒地港湾空港技術研究センター

2019年の年末から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、国境を越えたヒト・モノ・カネの移動に大きな影響を与え、日本国内の港湾では、2020年3月以降、国際クルーズ船の受け入れを停止してきました。その後、政府の新たな水際対策の緩和措置を踏まえ、邦船や外国クルーズ船社の業界団体等が感染拡大予防ガイドラインを策定し、国土交通省では、これらのガイドラインの内容について、感染症や危機管理等の専門家からの意見や関係省庁との確認により、日本における国際クルーズの受け入れを2022年11月15日から再開しました。

北海道内の港湾等においても、今春から多くの邦船や外国クルーズ船が寄港し、港やみなとまち、観光地に賑わいが戻ってきました。

なお、最新のクルーズ船寄港情報は、各港湾管理者や北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。

北海道クルーズ振興協議会 HP

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

港名	2022年寄港実績(回)			2023年寄港予定(回)		
	邦船	外国船	計	邦船	外国船	計
小樽港	6	—	6	6	16	22
函館港	9	—	9	6	41	47
室蘭港	3	—	3	2	11	13
釧路港	2	—	2	1	12	13
苫小牧港	—	—	—	1	1	2
稚内港	1	—	1	—	—	—
根室港	—	—	—	1	1	2
白老港	2	—	2	1	—	1
奥尻港	—	—	—	3	—	3
杓形港	4	—	4	9	2	11
香深港	—	—	—	1	—	1
羅臼漁港	4	—	4	5	—	5
計	31	—	31	36	84	120



函館港に入港した MSC ベリッシマ (写真提供：函館港湾事務所)



小樽港に入港したクイーンエリザベス

